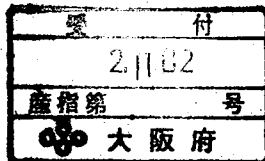


産業廃棄物処理計画書

2020年10月31日

大阪府知事 殿

1/2



提出者 住所 大阪市淀川区木川西2-2-5

氏名 三和建设株式会社

常務取締役大阪本店長 辻中 敏
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

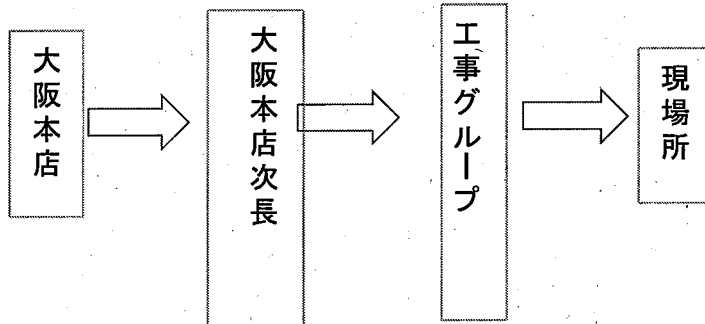
電話番号 06-6301-6636

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和建设株式会社
事業場の所在地	大阪市淀川区木川西2-2-5
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高 11,600,000,000円
③従業員数	153人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・解体工事 がれき類(コンクリート破片・アスコン破片)再生処理業者に委託して、再生砕石として資源化 木くず⇒再生処理業者に委託してチップ(合板用、燃料用)として再資源化 新築工事発生産業廃棄物 再生利用出来る様、極力分別に努める

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	2.23 t	37.8 t
	（これまでに実施した取組）設計・施工計画段階において産業廃棄物の抑制を考慮した工法を採用する。事前教育による梱包材の削除を推進する。余剰材の持ち帰りを実施。広い現場で分別収集を実施する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	100 t	20 t
	（今後実施する予定の取組）更なる梱包材の簡素化を推進。狭い現場でも分別収集を推進・計画する。不要材の搬入を無くすよう入念な事前打合せ、計画を実施。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 大規模現場では、木くず、廃プラ類、廃石膏ボード、金属くず、紙くず、コンガラ、ガラス陶器くず、混合廃棄物。 小規模現場では、木くず、コンガラ、金属くず、混合廃棄物
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）分別を徹底させるべく、金属くず、木くずの1m ³ コンテナを設置しさらなる分別を促す。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	陶器くず
0.15 t	39.26 t	3.53 t	27 t

②計画

コンクリート破片	アスコン破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
50000 t	200 t	50 t	70 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃石膏ボード	がれき類	コンクリートくず	建設系混合廃棄物
0.2 t	10.02 t	5000 t	0.52 t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

石綿含有産業廃棄物			
2.74 t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	陶器くず
0.15 t	39.26 t	3.53 t	27 t
t	t	t	27 t
0.15 t	39.26 t	3.53 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃石膏ボード	がれき類	コンクリートくず	建設系混合廃棄物
0.2 t	10.02 t	2232 t	0.52 t
0.2 t	10.02 t	t	t
t	t	2232 t	0.52 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

石綿含有産業廃棄物			
2.74 t	t	t	t
t	t	t	t
2.74 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	100 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き優良認定処理業者に委託し、電子マニフェスト登録している処理業者へ処理を行う、		
※事務処理欄			

②計画

コンクリート破片	アスコン破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
5000 t	200 t	50 t	70 t
t	t	50 t	70 t
5000 t	200 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。